

$$\frac{1}{11}$$


適用基準	鋼道路橋設計示方書(昭和31年)
------	------------------

注記

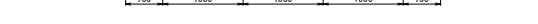
- 1) 本図面は、既存資料及び現地測定を基に作成した図面である。
- 2) 補修工事に当たり、寸法等は再度現地計測を行って確認する事。



S=1:50



S=1:50



S=1:10

(複合床版防水)

S=1:10

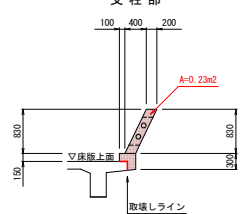
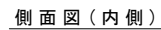
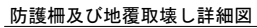
S=1:10



346	354
-----	-----

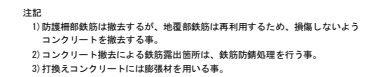
種 別	規 格	合 計	単位	備 考
路面切削工	全面切削 6cmを超え12cm以下	84.8	m ²	横断 (t=19cm・平均値) 42.4m ² ×2(両側)
舗装板切断工	As舗装 15cm以下	9.5	m	起点取付4.7m+終点取付4.8m
舗装板破砕工	As舗装 15cm以下	48.7	m ²	起点取付24.6m ² +終点取付24.1m ²
床版防水工	複合床版防水工	39.6	m ²	横断 (5.30m×7.48m)
排水パイプ	排水穴埋用排水パイプ	17.4	m	(7.48m+排水溝深とし込み長0.30m×2(両側)×2)×2
遮断止水材	φ60×150	10.6	m	5.30m×2
舗装打換え工	①密着度As(13F)改質11型 t=3cm	42.4	m ²	横断
	②密着度As(13)改質11型 t=4cm	42.4	m ²	横断
	③密着度As(13)改質11型 t=23cm	42.4	m ²	横断(レベリング層)
	④再生密着度As(13F) t=3cm	48.7	m ²	起点取付24.6m ² +終点取付24.1m ²
	⑤再生密着度As(13) t=4cm	48.7	m ²	起点取付24.6m ² +終点取付24.1m ²
区画線 舗装	外側線 縦線 8=15cm	36.0	m	車道直付部を含む (5.00m+8.00m+5.00m)×2(両側)

令和8年度 橋梁補修 工事		
工事番号	繰補メンテ第964-1号	
路線 河川名	榑里町柳田線（柳田橋）	
施設 行所	西津軽郡深浦町大字柳田 地内	
地覆修修回(1/2)	縮尺	図 示
図面番号	1 1	葉 中 3
西北県土整備事務所 鯉ヶ沢道路河川事業所		
青	森	県



注記

- 1) 本図面は、既存資料及び現地測定を基に作成した図面である。
- 2) 補修工事に当たり、寸法等は再度現地計測を行って確認する事。



表面処理工
コンクリート表面含浸材塗布

The diagram illustrates the application of a water-repellent material to the surface of a concrete slab. A red line indicates the surface, and a light blue layer represents the applied material. The concrete slab is shown with aggregate and a rebar.

表面処理工(地覆)			
番号	面 積		
—	$0.10+0.30+0.37+0.15$	=	0.92m ²
—	$0.92 \times (7.48 \times 2)$	=	13.76m ²
合計		$\Sigma A =$	13.76m ²

注記

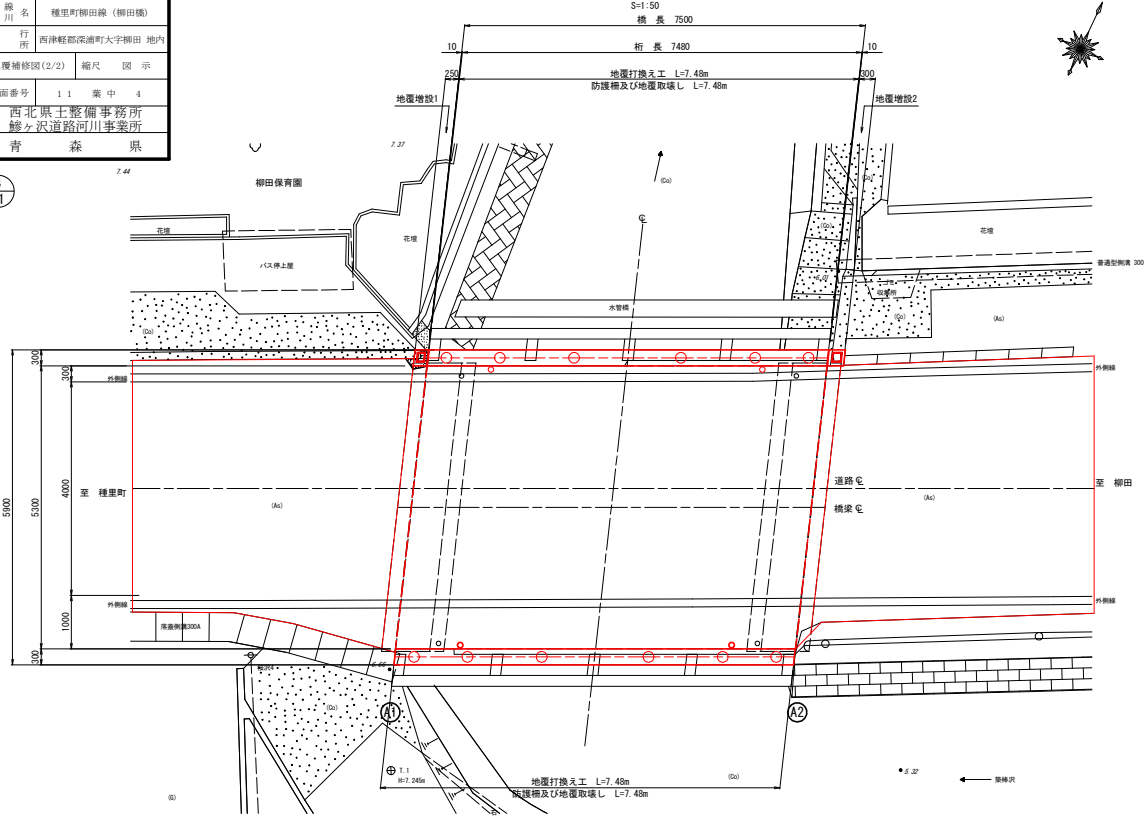
- 1) コンクリート表面含浸材は「シラン系含浸材(鉄筋腐食抑制型)」とする。
(標準塗布量0.60L/m²:1回塗り)
- 2) 含浸材塗布範囲は、打替え部全面に塗布する。

令和8年度 橋梁補修 工事	
工事番号	繰補メンテ第064-1号
路河名	種里町柳田線（柳田橋）
地行	西津軽郡深浦町大字柳田 地内
地覆	地覆補修図(2/2) 縮尺 図示
図面番号	1 1 案 中 4
西北県土整備事務所 鯉ヶ沢道路河川事業所	
青 森 県	

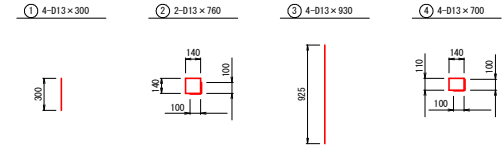
4
11

柳田橋 地覆補修図(2/2)

平面図



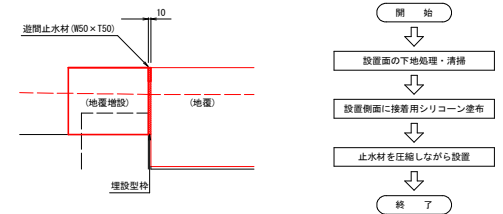
鉄筋加工図
S=1:50



鉄筋重量表

種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位重量 (kg/m)	1本当たり重量 (kg)	重 量 (kg)	備 考
①	D13	300	4	0.995	0.299	1.196	
②	D13	760	2	0.995	0.756	1.512	
③	D13	930	4	0.995	0.925	3.700	
④	D13	700	4	0.995	0.697	2.788	
				D13	合計(kg)	9.196	SD345

遊間止水材詳細図
S=1:10



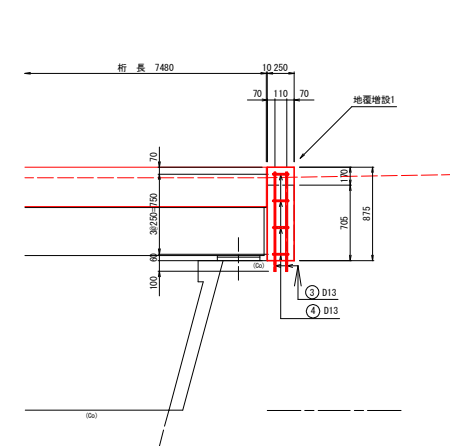
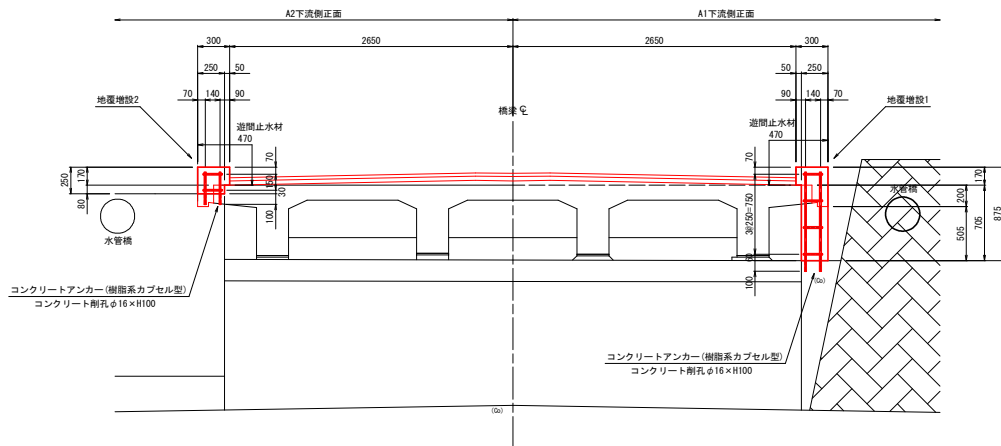
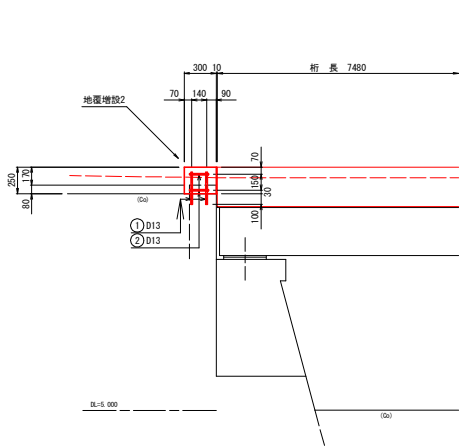
- 注記
- 1) 地覆増設は、下部工端部に地覆が無く橋面から漏水している箇所にて計画している。
 - 2) 橋梁地覆側面型枠は遊間が10mm程度である事から埋設型枠を使用し、地覆上面及び側面に遊間止水材で止水処理を行う事。

地覆増設詳細図
S=1:25

正面図

A2下流側側面図

A1下流側側面図



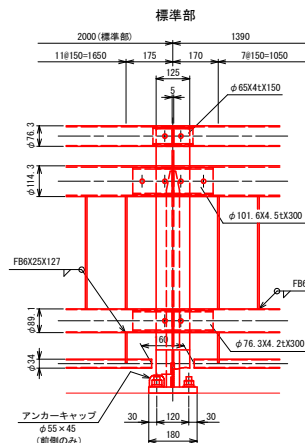
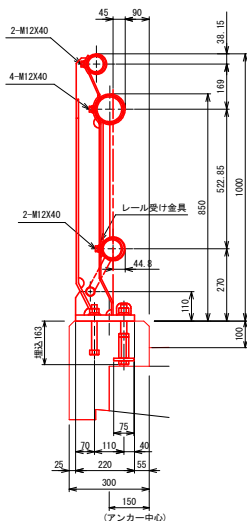
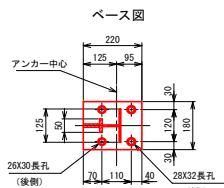
$$\frac{5}{11}$$

平面図

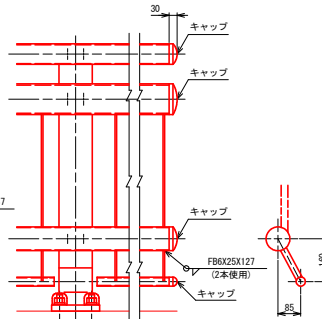
S=1:50

Technical drawing of a bridge cross-section. The drawing shows a trapezoidal structure with a central horizontal line labeled "LEVEL". The top width is 7480 (防護欄長), and the bottom width is 7480 (防護欄長). The total height is 5300. The top edge has a slope of 84°. The bottom edge has a slope of 84°. The central horizontal line is labeled "LEVEL". The top edge has a width of 7480 (防護欄長). The bottom edge has a width of 7480 (防護欄長). The total height is 5300. The top edge has a slope of 84°. The bottom edge has a slope of 84°. The central horizontal line is labeled "LEVEL".

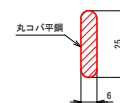
ポスト外周端面 S=1:1



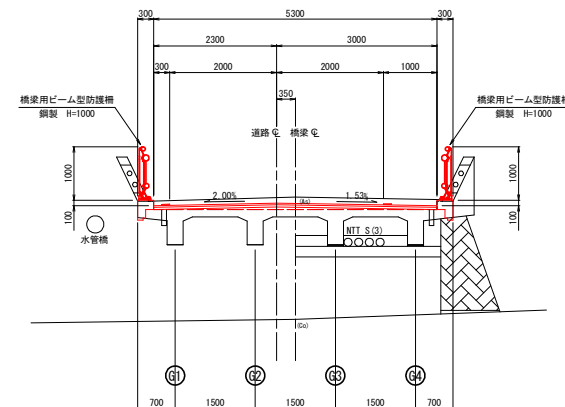
端 部



立貫断面 S=1:1



断面图



材料表

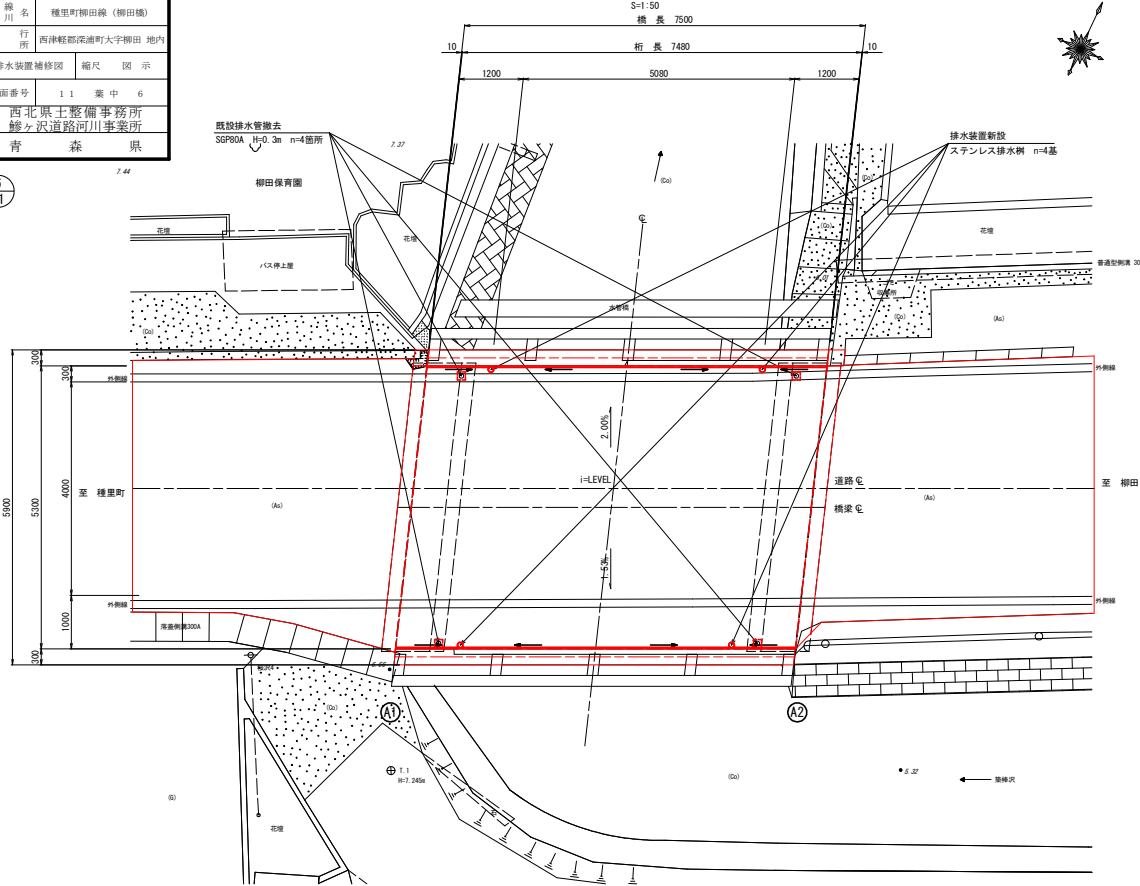
材料表		SK-30F-100MS		(標準部ポストピッチ2m/100mm当り)		
名 称	寸 法	材 質	単位重量	数 量	重 量	
ポ ス ト	99SX220X180	SS400	18.67	5.0 本	93.4	
レ ー ル	φ114.3X4.5t	STK400	12.20	9.975 m	121.7	
レ ー ル	φ89.1X2.8t	STK400	5.96	9.975 m	59.5	
レ ー ル	φ76.3X2.8t	STK400	5.08	9.975 m	50.7	
補助レール	φ34X2.3t	STK400	1.18	9.200 m	16.6	
継 手	φ101.6X4.5X300	STK400	3.23	5.0 本	16.2	
継 手	φ76.3X4.2X300	STK400	2.24	5.0 本	11.2	
継 手	φ65X4.1X150	STK400	0.91	5.0 本	4.6	
レール受け金具	608080X2	ステンレス	0.12	5.0 コ	0.6	
立 貫	F86X25X447	SS400	0.53	60.0 本	31.8	
支 持 板	F86X25X127	SS400	0.15	10.0 本	1.5	
止メボルト	M12X40 (B, W, S)	強度区分: 6.8以上	0.06	40.0 本	2.4	
六角ボルト	M22X40 (B)	強度区分: 8.8以上	0.20	10.0 本	2.0	
アンカーボルト	M22X165 (全ネジB 1種N 3種N 高N, W, S)	強度区分: 8.8以上	0.94	10.0 本	9.4	
アンカーボルト	M20X170 (六角金ネジB, N, W, S)	強度区分: 4.6以上	0.59	10.0 本	5.9	
アンカープレート	75 X 250 X 9t	SS400	1.26	5.0 枚	6.3	
				合 計	433.8 kg	
防護網長	L= 14,960 m					
格子端部処理	4箇所					
アンカーキャップ	24 コ					
ボスト総数量	12 本					
表面処理: 溶融亜鉛めっき後、高耐欠塗装117S (標準塗装膜厚155μm)						
・塗装後は「景観に配慮した防護網の整備ガイドライン」に準拠とする。						
・止メボルトは高耐食性ボルト仕様、アンカーボルトはH247引上げ。(但しアンカープレートは黒皮品、レール受け金具は未塗装)						
注: 立貫材は丸コパ鋼 (角鉄タイプ) 使用						
注: ポスト外用補面はR面取付加工を施す。						
注: 橋梁用ビーム型防護柵は(一社)全国高規格協会が認定した特許登録試験機により性能確認された製品とする。						

令和6年度 橋梁補修 工事	
工事番号	繰補メンテ第064-1号
橋河川名	種里町柳田線 (柳田橋)
地所	西津軽郡深浦町大字柳田 地内
排水装置補修図	縮尺 図示
図面番号	11 業中 6
西北県土整備事務所 鯉ヶ沢道路河川事業所	
青森県	

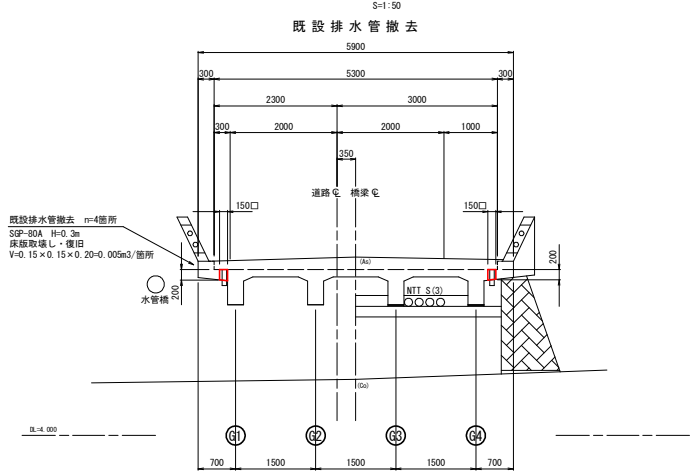
6
11

柳田橋 排水装置補修図

平面図



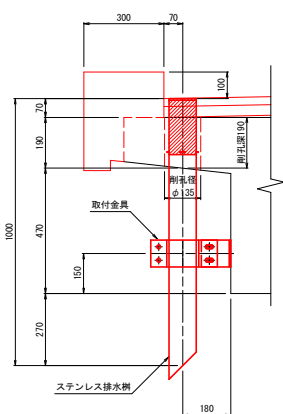
断面図



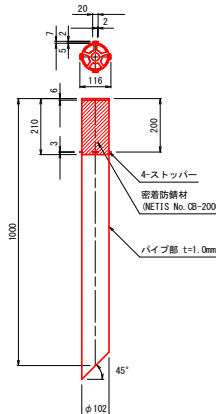
ステンレス排水樹詳細図

S=1:10

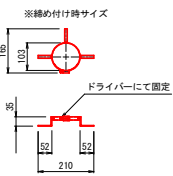
断面図



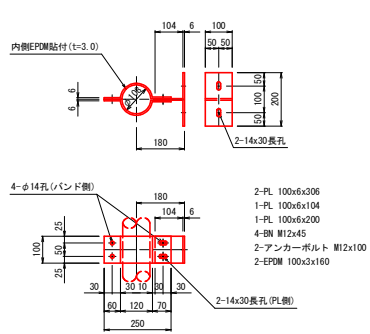
パイプ詳細図



仮固定バンド

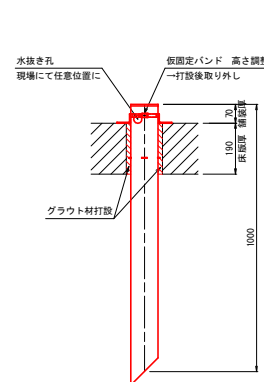


取付金具詳細図



- 注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
4. 現地調査にて寸法確定後製作する。

設置例



使用方法一例

- ※現場状況、工法に合わせ使用可否、手順を決定する
・舗装厚 (もしくは任意) の高さになるよう仮固定バンドを上下高さ調整し本体に取り付け (パイプ上端より床版高35mm以上必要)
↓
・必要に応じ水抜き穴をホールソー等にて孔明
↓
・床版 (もしくは調整コン等) 上に仮置きし、グラウト材を隙間に打設
↓
・硬化後、仮固定バンドは外す
ー 舗装工事へ

注記

- 1) 本図面は、既存資料及び現地測定を基に作成した図面である。
2) 補修工事に当たり、寸法等は再度現地計測を行って確認する事。

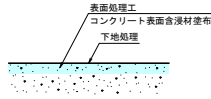
令和8年度 橋梁補修 工事	
工事番号	繰補メンテ第064-1号
路線名	種里町柳田線 (柳田橋)
地行所	西津軽郡深浦町大字柳田 地内
コンクリート補修図(1/3)	縮尺 S=No scale
図面番号	11 業 中 7
西北県土整備事務所 緑ヶ浜道路河川事業所	
青 森 県	

7
11

柳田橋 コンクリート補修図(1/3)

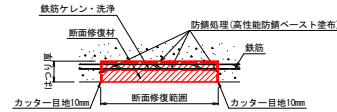
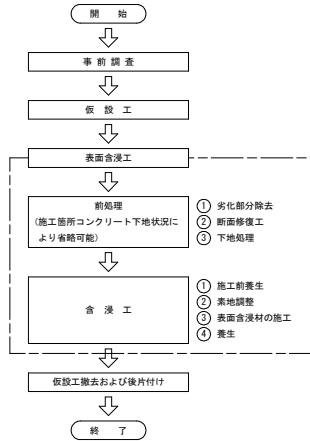
S=No scale

表面処理工



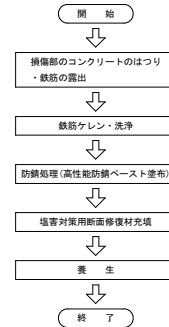
- 注記
- 1) 含浸材塗布前に簡易清掃を行う事。
 - 2) コンクリート表面含浸材は「シラン系含浸材(鉄筋腐食抑制型)」とする。
(標準塗布量0.6L/m²:1回塗り)
 - 3) 下地処理後に幅0.2mm以上のひび割れなどの劣化部が確認できた場合は別途、補修工法を行う事。

補修対策詳細図・数量表

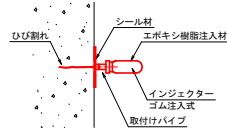


- 注記
- 1) 劣化部コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう、カット一目地を入れて施工する事。
 - 2) はつり後の処理方法は塩化物含有量試験及びはつり調査結果より以下のとおりとする。
○はつり後に鉄筋が露出している場合(鉄筋処理有り)
はつり調査結果より鉄筋露出範囲が広範囲である事から、鉄筋裏側まではつり、洗浄等の処理後に塩分吸着剤配合の「高性能防錆ペースト」を鉄筋及びはつりコンクリート部に塗布する防錆処理を行い断面修復を行う事。【塗布厚1.0mm(1.4kg/m²):塩化物イオン量2~4kg未満】
○はつり後に鉄筋が露出していない場合(鉄筋処理無し)
はつりコンクリート部に塩分吸着剤配合の「高性能防錆ペースト」を塗布する事。【塗布厚1.0mm(1.4kg/m²):塩化物イオン量2kg未満】
 - 3) 断面修復材は塩分吸着剤配合のポリマーセメント系修復材である「塩害対策用断面修復材」とする。

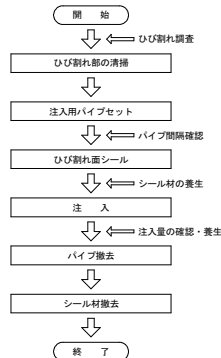
断面修復工(左官工法)



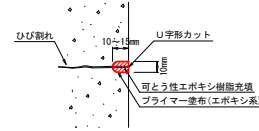
ひび割れ注入工(低圧低速注入工法)



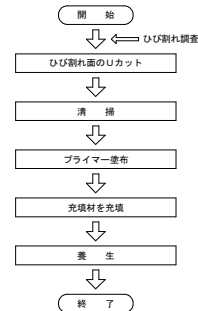
- 注記
- 1) 本工法の対象となるひび割れ幅は、0.2mm以上1.0mm未満のものとする。
 - 2) 注入材は「可とう性注入用エポキシ樹脂」で、国土交通省土木補修用エポキシ樹脂注入材の適合材を使用する事。
 - 3) 注入パイプの間隔は、25cm程度とする。



ひび割れ充填工



- 注記
- 1) 本工法の対象となるひび割れ幅は、1.0mm以上のものとする。
 - 2) Uカット処理後にプライマーを塗布し、充填材を充填する事。充填材は可とう性エポキシ樹脂とする。
 - 3) Uカット処理時に鉄筋が露出し発錆が確認できた場合は、防錆処理を施す事。



表面処理工(地盤)		
番号	面 積	
—	0.10+0.30+0.37+0.15	= 0.92m ²
—	0.92 × (7.48 × 2)	= 13.76m ²
合計 ΣA=		13.76m ²

m当たり塗布面積
地盤塗布面積

表面処理工(床版・主桁・横桁)		
番号	面 積	
①	9.25 × 7.48	= 69.19m ²
②	CAD計測断面積 0.406m ² × 6箇所	= 2.44m ²
合計 ΣA=		71.63m ²

表面処理工(下廊工)		
番号	面 積	
①	CAD計測による	= 0.37m ²
②	CAD計測による	= 1.97m ²
③	CAD計測による	= 0.52m ²
④	CAD計測による	= 7.58m ²
⑤	CAD計測による	= 0.20m ²
⑥	CAD計測による	= 1.85m ²
⑦	CAD計測による	= 0.52m ²
⑧	CAD計測による	= 0.77m ²
⑨	CAD計測による	= 7.69m ²
⑩	CAD計測による	= 0.76m ²
合計 ΣA=		22.23m ²

断面修復工(床版・主桁・横桁)			
番号	体 積	鉄筋処理	
1	0.07 × 0.15 × 0.03 = 0.0003m ³	無し	
2	0.21 × 0.20 × 0.05 = 0.0021m ³	有り	
3	0.28 × 2.51 × 0.10 = 0.0703m ³	有り	
4	0.09 × 0.07 × 0.05 = 0.0003m ³	有り	
5	0.11 × 0.07 × 0.05 = 0.0004m ³	有り	
6	0.03 × 0.04 × 0.05 = 0.0001m ³	有り	
7	0.08 × 0.05 × 0.05 = 0.0002m ³	有り	
8	0.17 × 0.67 × 0.10 + 0.08 × 0.53 × 0.10 = 0.0156m ³	有り	
9	0.18 × 0.10 × 0.05 = 0.0009m ³	有り	
10	0.14 × 0.10 × 0.05 = 0.0007m ³	有り	
11	0.10 × 0.08 × 0.05 = 0.0004m ³	有り	
12	0.10 × 0.11 × 0.03 = 0.0003m ³	無し	
13	0.11 × 0.06 × 0.03 = 0.0002m ³	無し	
合計(鉄筋処理無し) ΣV=		0.0008m ³	
合計(鉄筋処理有り) ΣV=		0.0910m ³	

断面修復工(下廊工)			
番号	体 積	鉄筋処理	
1	0.10 × 0.22 × 0.03 = 0.0007m ³	無し	
2	0.13 × 0.16 × 0.03 = 0.0006m ³	無し	
3	CAD計測面積 0.083 × 0.05 = 0.0042m ³	無し	上面
4	CAD計測面積 0.108 × 0.05 = 0.0054m ³	無し	正面
5	CAD計測面積 0.092 × 0.05 = 0.0046m ³	無し	側面
6	CAD計測面積 0.095 × 0.05 = 0.0048m ³	無し	上面
7	CAD計測面積 0.120 × 0.05 = 0.0060m ³	無し	側面
8	CAD計測面積 0.107 × 0.05 = 0.0054m ³	無し	正面
9	0.09 × 0.01 × 0.05 = 0.0005m ³	無し	
10	0.36 × 0.43 × 0.03 = 0.0046m ³	無し	
11	0.47 × 0.17 × 0.05 = 0.0040m ³	無し	上面
12	0.21 × 0.05 × 0.05 = 0.0005m ³	無し	正面
13	CAD計測面積 0.069 × 0.05 = 0.0035m ³	無し	側面
14	0.12 × 0.12 × 0.05 = 0.0007m ³	無し	
合計(鉄筋処理無し) ΣV=		0.0495m ³	

ひび割れ注入工(床版・主桁・横桁)			
番号	割れ幅	延長	備考
(1)	0.20mm	L=5.55m	
(2)	0.20mm	L=0.25m	
(3)	0.20mm	L=0.75m	
(4)	0.20mm	L=0.46m	
(5)	0.30mm	L=0.15m	
(6)	0.80mm	L=0.72m	
(7)	0.20mm	L=10.50m	
合計 ΣL=		18.38m	

ひび割れ注入工(下廊工)			
番号	割れ幅	延長	備考
(1)	0.70mm	L=1.40m	
(2)	0.80mm	L=5.91m	
(3)	0.70mm	L=0.65m	
(4)	0.50mm	L=0.40m	
(5)	0.60mm	L=0.43m	
(6)	0.60mm	L=0.79m	
(7)	0.50mm	L=1.17m	
合計 ΣL=		10.75m	

ひび割れ充填工(下廊工)			
番号	割れ幅	延長	備考
[1]	1.00mm	L=0.34m	
[2]	1.30mm	L=5.48m	
[3]	1.40mm	L=0.76m	
合計 ΣL=		6.58m	

令和8年度 橋梁補修 工事	
工事番号	橋補メンテ第64-1号
路線名	種里町柳田線 (柳田橋)
地行所	西津軽郡深浦町大字柳田 地内
コンクリート補修図(3/3)	縮尺 S=1:25
図面番号	11 業中 9
西北県工整備事務所 鯉ヶ沢道路河川事業所	
青森県	

9
11

柳田橋 コンクリート補修図(3/3)

S=1:50

下部工補修図

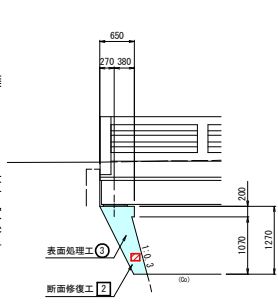
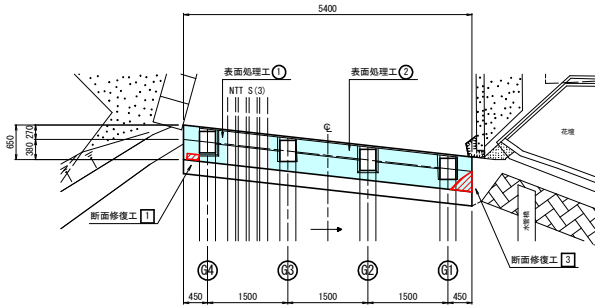
A1下部工

平面図

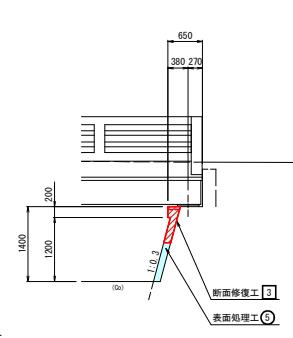
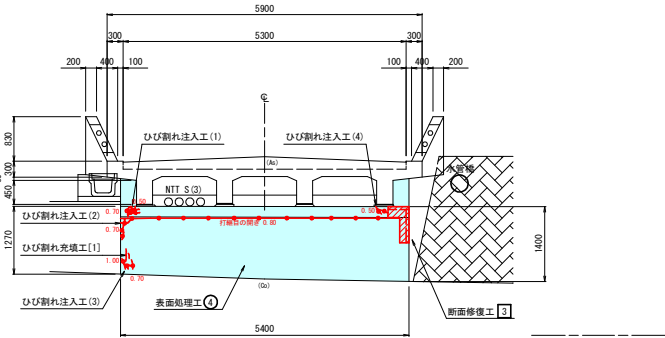
上流側

正面図

下流側



DL+4.000



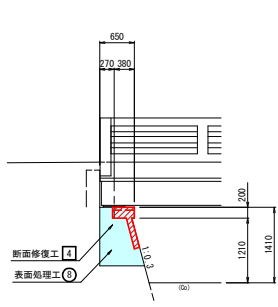
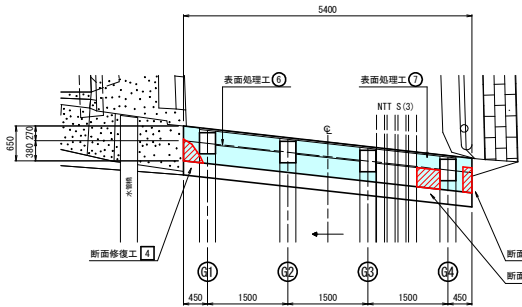
A2下部工

平面図

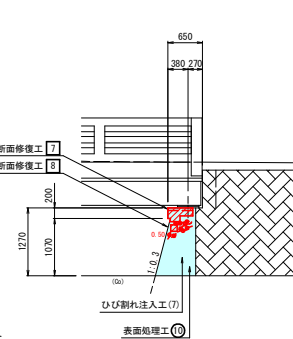
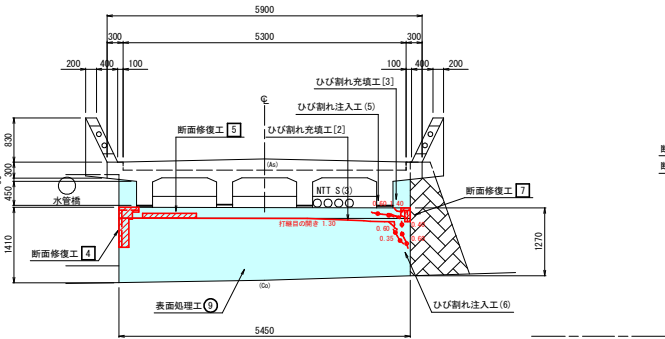
下流側

正面図

上流側



DL+4.000



補修工凡例

表示	補修工法
	表面処理工
	断面修復工
	ひび割れ注入工
	ひび割れ充填工

注記
 1) 本図面は、既存資料及び現地測定を基に作成した図面である。
 2) 補修工事に当たり、寸法等は再度現地計測を行って確認する事。
 3) 下部工下端まで表面処理工を計上しているが、施工時水位の影響で縮小する場合は監督員と協議する事。

令和8年度 橋梁補修 工事	
工事番号	橋補メン字第064-1号
路線名	種里町柳田線（柳田橋）
箇所	西津軽郡深浦町大字柳田 地内
寄座モルタル補修区	縮尺 S=1:50
図面番号	1.1 葉 中 1.0
西北県工整備事務所 雄ヶ浜道路河川事業所	
青 森 県	

柳田橋 寄座モルタル補修図

S=1:50

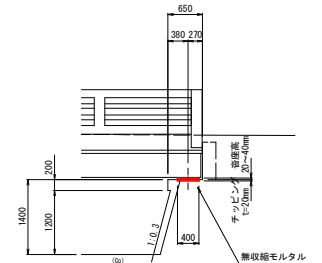
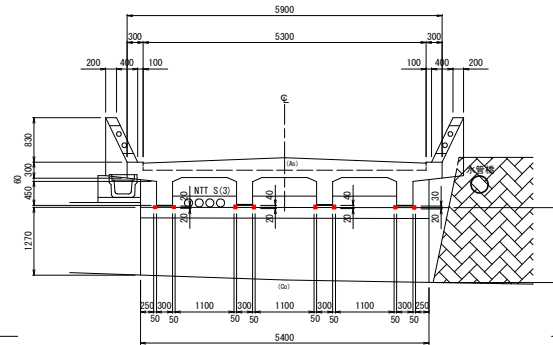
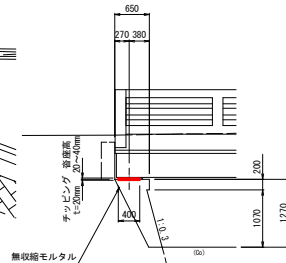
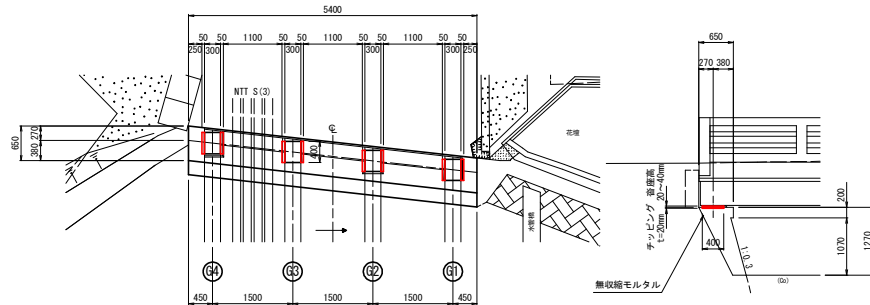
A1下部工

平面図

上流側

正面図

下流側



DL-4.000

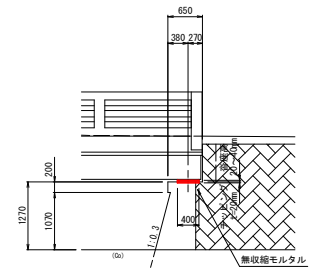
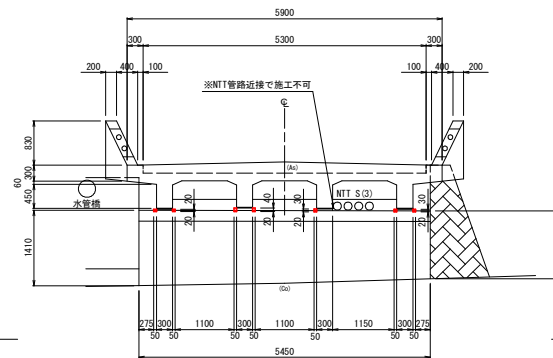
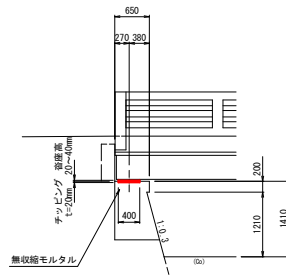
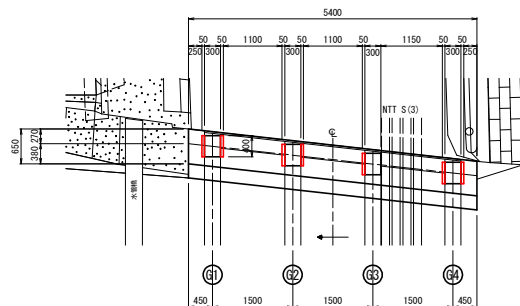
A2下部工

平面図

下流側

正面図

上流側



DL-4.000

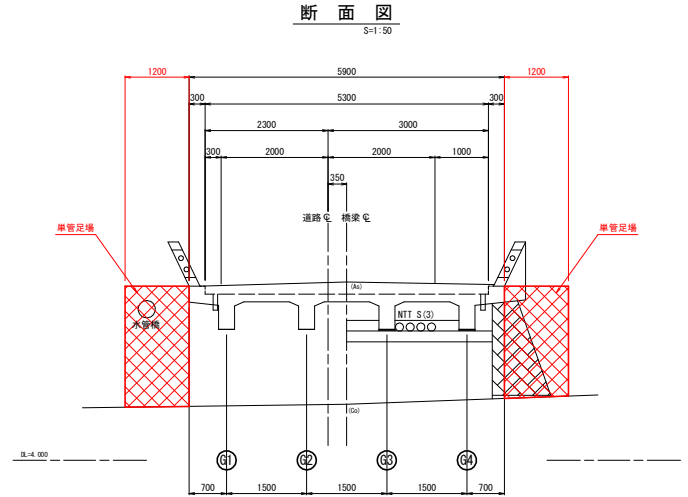
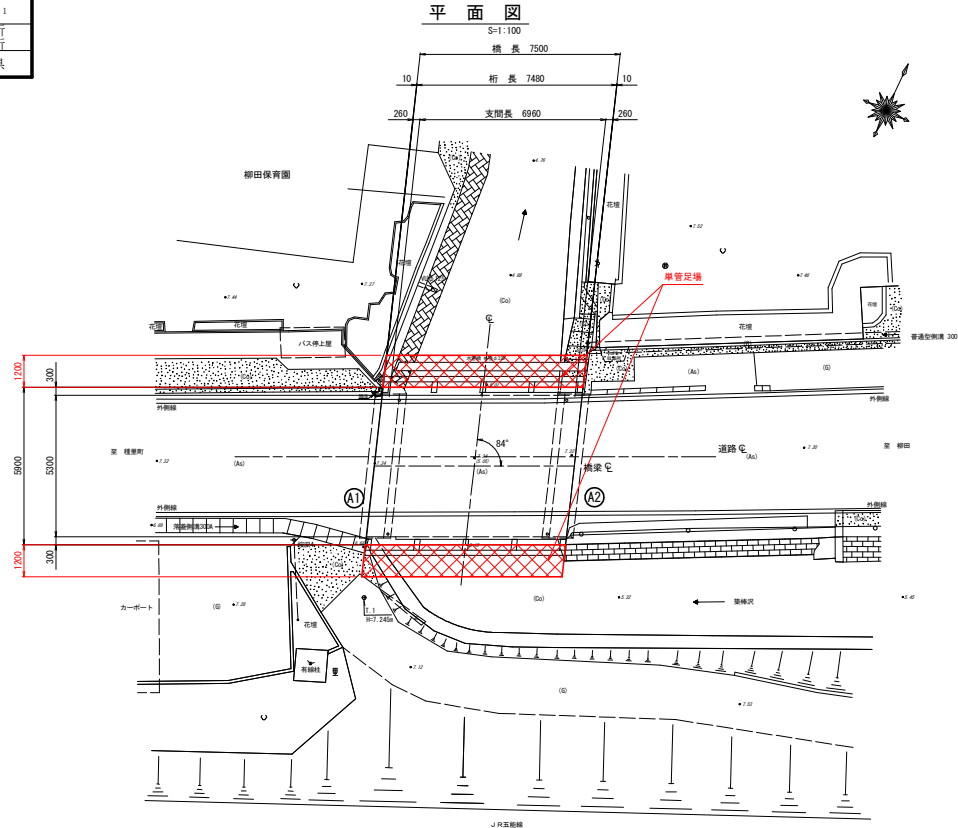
注記

- 1) 本図面は、既存資料及び現地測定を基に作成した図面である。
- 2) 補修工事に当たり、寸法等は再度現地計測を行って確認する事。
- 3) チップリング処理部及び既設寄座モルタルとの接合部にプライマーを塗布する事。
- 4) 計画寄座モルタルは、支承前面及び後面の施工スペースが確保できないため側面のみとしている。既設側面に寄座モルタルがある場合は、はつり作業に留意する事。既設前面に寄座モルタルがある場合は、撤付処理を行う事。

令和8年度 橋梁補修 工事	
工事番号	繰補メン字第064-1号
路線名	種里町柳田線 (柳田橋)
施行所	西津軽郡深浦町大字柳田 地内
仮設足場参考図	縮尺 図示
図面番号	1.1 業中 1.1
西北県土整備事務所 雄ヶ浜道路河川事業所	
青森県	

11
11

柳田橋 仮設足場参考図



注記

1) 本図面は、地覆及び防護柵補修時の仮設足場参考図である。

2) 水路埋井及び水管橋が近接しているため、補修工事に当たり形状等は再度現地計測を行って確認する事。

3) 足場設置箇所は水路内である。其下量は少ないが、通水断面を確保する事。

※参考：設計業務委託時通水高 5cm

